



③現在のキハ110系気動車



①大正6年に行われた磐越東線（旧平郡線）開通祝い〔『写真で見えるいわきの歴史 懐郷無限』から転載〕 ②昭和30年代に運行していた旧型客車〔国府田英二氏提供〕

磐越東線の歴史と魅力

○歴史
常磐線と東北本線を結ぶ「磐越東線」は、大正時代から建設が始まり、人の移動をはじめ、浜通りで産出する石炭や鮮魚のほか、沿線で生産されるセメント・粘土・木材などを運ぶ輸送路として活躍しました。

高度経済成長期には、磐越東線経由で、勿来駅と仙台駅を結ぶ準急（後の急行）「いわき」が走るなど、運行状況が充実し、浜通りと中通りを結ぶ輸送路として、さらに重要な役割を果たすことになりました。

○魅力
「ゆうゆうあぶくまライオン」の愛称で親しまれる同線の車窓からは、阿武隈山系の山々を背景に広がる田園や里山の風景、季節ごとに彩りの変化を見せる夏井

川の渓谷美を楽しめます。他にも沿線には、登山道を備えた山や渓谷、新緑・紅葉・花の名所などがあり、季節の移り変わりを肌で感じる事ができます。



アカヤシオ（岩ツツジ）と紅葉の時期には徐行運転を実施

しかし、自動車の普及や道路の整備が進むにつれて輸送量が減少し、平成七年に磐越自動車道が開通すると、長距離客の多くが高速バスに移行し、貨物もトラックでの輸送が主流になりました。そして、平成十一年には、貨物列車の運行がなくなりまし

磐越東線を利用されている方に思い出や魅力を聞きました



石炭で走っていた頃に通学で利用していたので、顔や制服の白襟が黒くなってしまい大変でした。



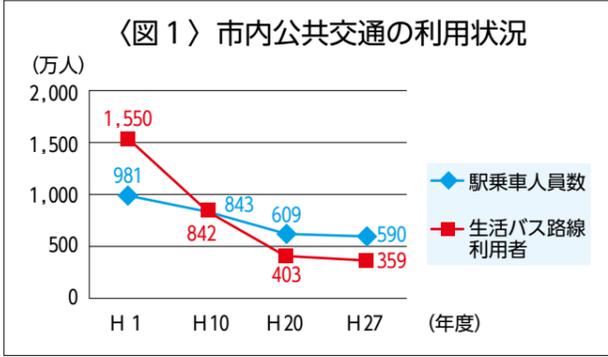
磐越東線を利用すると、沿線にたくさんある魅力的な観光スポットに行けるのがいいですね。

祝！ 磐越東線いわき駅—郡山駅間 全線開通100周年

磐越東線は、大正6（1917）年10月10日にいわき駅（旧平駅）—郡山駅間全線（85.6km）が開通して、本年で100周年を迎えます。10月には記念行事を開催しますので、この機会に、磐越東線の歴史などを振り返りながら、列車の旅を楽しみましょう。

○お問い合わせ
都市計画課
総合交通対策担当
☎22-1120

鉄道などの公共交通を利用しましょう



公共交通は、自動車の普及や人口減少により、利用者が減少し（図1）、維持・確保が難しくなっています。自動車などの移動手段を持たない高齢者や学生などにとって、公共交通は不可欠な移動手段です。公共交通を守り、誰もが暮らしやすく安心して生活できるまちをつくるため、公共交通を利用しましょう。

○市鉄道交通サポーター「鉄援隊」を募集

市鉄道交通サポーター「鉄援隊」に登録し、一緒に鉄道交通を守り育む活動をしてくれる方を募集しています。登録された方には、オリジナル会員証・バッジを交付します。※登録方法など詳しくは、同課へお問い合わせください。



10月8日(日)に記念行事を開催

いわき駅会場

- ▶とき 10時～15時
- ▶内容 ステージイベント（フラダンス、マジックショーなど）、記念写真撮影、ミニ鉄道乗車体験、鉄道塗り絵・ペーパークラフト作成、鉄道ゲーム、鉄道クイズ、鉄道写真の展示など



川前駅会場

- ▶とき 9時30分～14時20分
- ▶内容 ステージイベント（フラダンス、バンド演奏など）、鉄道ゲーム、地元特産品等の販売、鉄道模型・資料の展示、記念品の配布（先着200人）など

※いわき駅8時41分発の列車で会場に到着した方に、会場で使える400円券を配布（先着120人）。

